

事業承継並びにM&Aの課題について（改訂継続）

厳しい経営状況が続く中小企業にとって、事業承継に係る問題は極めて深刻な状況にあります。後継者のいる企業も、後継者のいない企業も、等しく課題を抱えていると思われます。

以前に実施された商工会議所および桐生信用金庫による調査結果から見ても、きわめて喫緊の課題であります。

昨年度の提言に対して桐生市より、『県と連携しながら事業承継支援を推進するとともに関係機関とのネットワーク強化を図り、支援策のあり方を研究・検討していきたい』との回答をいただいたが、中小企業にとっては具体的な支援策の実施を望んでいる現状から、桐生市独自の制度融資の導入等実行可能な支援策の研究・検討をお願いします。

また、昨年度より連携した株式会社ライトライトが運営する「事業承継マッチングプラットフォーム」の利用に際しては、桐生商工会議所にも常に情報を提供していただくことにより協調した事業が行えることができると考えます。

京都府をはじめ全国12の都市では、「長寿企業表彰」として100年を超える企業を毎年表彰しております。桐生市にも長寿企業が多数存在しています。長寿企業の継続のノウハウを知ることは企業経営者にとって極めて価値のあることです。桐生市でもぜひ表彰を実施していただくことを要望いたします。

桐生市からの回答

本市企業の大部分を占める中小企業において、経営者の高齢化や労働力の減少等が進展する中、後継者不足等を背景に、事業継続を断念する企業は増えており、地域の活力や競争力等を維持していくためにも、事業承継問題への対応は喫緊の課題と認識しております。

こうした中、市の事業承継支援としては、後継者育成の観点で「事業承継・後継者育成ゼミナール」を開催しているほか、第三者承継の啓蒙・促進の観点から、民間企業と連携した「オープンネーム型事業承継マッチングプラットフォーム」の活用等を通じて、円滑な推進に努めているところであります。

事業承継はセンシティブな課題であり、事業者の状況やニーズ等の把握が難しい面もあるため、今後改めて、市内事業所向けのアンケート調査等を通じて、事業承継支援を希望する事業者の実態やニーズ等の把握を行うことを計画しておりますが、こうした中で、貴所を含む各支援機関と連携した支援の充実を図るほか、更なる支援策の研究・検討等も進めてまいりたいと考えております。

なお、ご提案いただいた「長寿企業表彰制度」につきましては、長く地域に貢献いただいていた長寿企業に感謝し、事業継続の秘訣等を知ることができる貴重な機会にもなると想定されますが、事業承継の促進という観点での効果なども含め、更なる研究が必要であると考えております。

[回答担当] 産業経済部 商工振興課 産業立地戦略担当